

都市マスタープラン見直しの方向性

方向性 1	歩いて暮らせるまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ● 本市の人口は、今後減少に転じ、少子高齢化も進行していくことが予測されています。 ● 市民アンケート調査でニーズが高かった、都市機能の集約化や歩行環境の整備、道路・公共交通のネットワークの充実など、「コンパクト+ネットワークのまちづくり」に引き続き取り組むことが必要です。 	
方向性 2	災害の防備と被害の低減
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民アンケート調査では、「自然災害等に対する防災対策」への満足度が低く、今後の取り組みの重要度が最も高い結果となりました。 ● 自然災害から市民の生命・財産を守り、被害を最小限に抑えることは、都市づくりに欠くことのできない取り組みであることから、災害の防備と被害の低減に向けた「安全・安心なまちづくり」に取り組むことが必要です。 	
方向性 3	地域の特色・課題に対応したまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ● 現行計画では、人口減少が予測される中、市街地の拡大によらず、定住や若い世代の転入を可能としていくためには、地域の特色を活かし、市街地の「質」を高めていくことが求められます。 ● そのためには、土地利用、都市活動を支える基盤施設、自然や景観など、都市を支える様々な分野が相互に連携しながら、総合的に「地域の個性を活かしたまちづくり」に取り組むことが必要です。 	
方向性 4	自然と歴史・文化の保全と活用
<ul style="list-style-type: none"> ● 豊かな自然環境、城下町として栄えた歴史・文化は、「佐倉らしさ」を示す市の重要な資源といえます。緑や農地は、環境負荷の低減や防災性の向上など多面的な機能の発揮も期待されており、また歴史・文化資源も従来の「保護」に加え、「活用」が求められています。 ● 自然、歴史・文化は、市民アンケート調査においても満足度が高く、交流人口の拡大、観光振興に寄与する重要な資源としても、引き続き保全・活用していくことが必要です。 	
方向性 5	安定した雇用と活力ある産業の維持・確保
<ul style="list-style-type: none"> ● 今後、本格的な人口減少、少子高齢社会の到来が予測される中において、都市として持続的に発展していくためには、安定した雇用と活力ある産業が確保・維持されることが求められます。 ● 高速道路等の整備の進展、成田空港の機能強化などに伴う交通利便性の向上など、企業が進出しやすい環境を活かし、新たな企業の進出先として選ばれるまちとしていくことが必要です。 	
方向性 6	様々なまちづくりの主体が共有できる計画づくり
<ul style="list-style-type: none"> ● 今後のまちづくりにおいては、市民、事業者、行政が、それぞれの役割・責務を果たしつつ、相互に連携し、将来像を実現していくことが不可欠です。 ● 限られた予算の中で多様化する市民ニーズに対応するためには、分野横断的な連携は欠かせない一方、法令の制定や改正などに伴い、行政分野毎に様々な個別計画が策定されています。 ● こうしたことから、改定計画には、様々なまちづくりの主体が共有できる計画であることが求められます。 	

都市マスタープラン見直しの方針

資料 2-2

見直し方針 1	現行計画のまちづくりの方向性を継承します。
	改定計画では、「都市と農村の共存」を掲げた現行計画の将来像と、5つのまちづくり方針（「1. 歩いて暮らせるまちづくり」「2. 安全・安心なまちづくり」「3. 地域の個性を活かしたまちづくり」「4. 佐倉らしさを守り育てるまちづくり」「5. 佐倉の資産を活かしたまちづくり」）を、「まちづくりの基本目標」と位置づけることで、そのまちづくりの方向性を継承していくこととします。
見直し方針 2	「選ばれるまち」になるための取り組みを強化します。
	改定計画では次代を担う若い世代に、佐倉市を暮らしの場として、多くの企業に事業活動の場として「選ばれるまち」、自然や歴史・文化に魅力を感じて「行ってみたいと思えるまち」となるため、ハード・ソフトの両面から様々な取り組みを進めていくこととします。
見直し方針 3	わかりやすいまちづくり計画として再構成します。
	個別計画とも連携しながら、現行計画のまちづくり方針を継承する基本目標に即し、土地利用のあり方や道路・下水道といった都市施設の整備の方向性など、取り組みの方向性が目的毎に見える計画に再構成します。 現行計画では全体構想・地域別構想として分かれていた都市マスタープランを1つの計画としてまとめる構成とします。

